

「土産品に関するアンケート調査」

結果報告書

～アンテナショップでの需要調査～

2019年2月

奈良商工会議所

調査の概要

1. 調査内容

奈良の新たな特産品の開発や販売促進に活用するため、奈良県のアンテナショップである「奈良まほろば館」（東京都中央区日本橋）への来場者が、奈良の特産品に対してどのような意識や意見を持っているかについて、土産品全体に関することについて調査を実施した。

2. 調査方法

まほろば館の来場者に対し、調査票を元に聞き取りを行う。

3. 調査の時期・回収サンプル数

2018年12月上旬に実施し、100件を回収した。

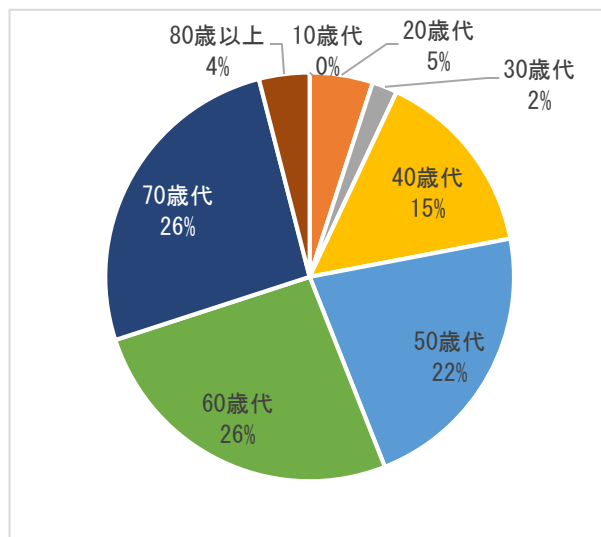
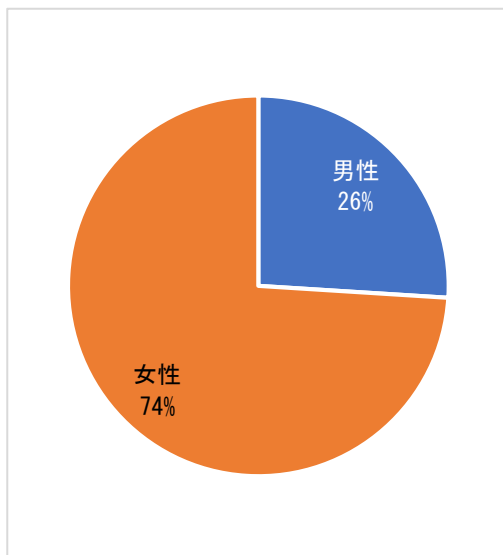
回答者の属性

1. 性別

「女性」（74%）の割合が「男性」（26%）に比べて高い。

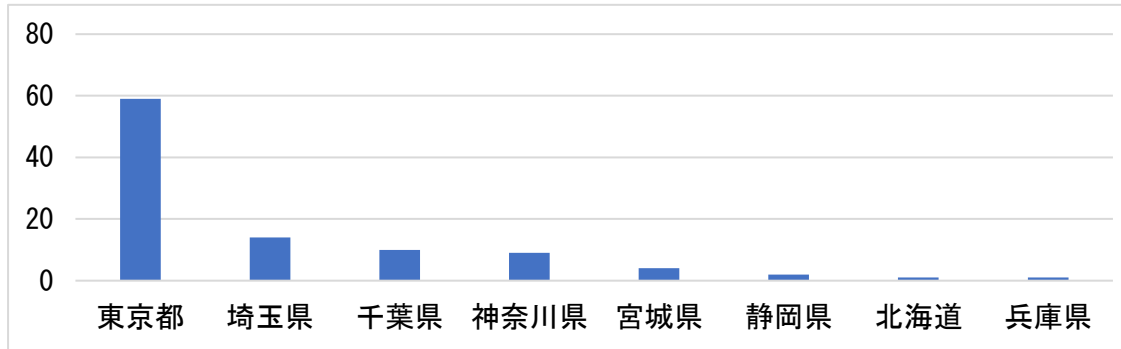
2. 年代別

「60歳代」（26%）、「70歳代」（26%）が多く、「50歳代」（22%）、「40歳代」（15%）と続き、40歳以上の中高年で93%を占めている。



3. 住まい

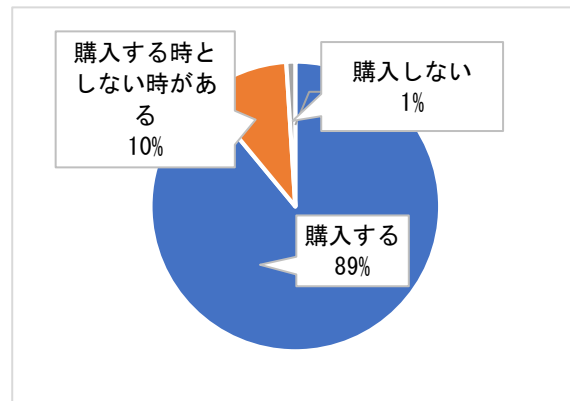
来場者の住まいは、東京都（59%）、埼玉県（14%）、千葉県（10%）、神奈川県（9%）、宮城県（4%）、静岡県（2%）、北海道（1%）、兵庫県（1%）の順であった。



お土産品全般に関する調査結果

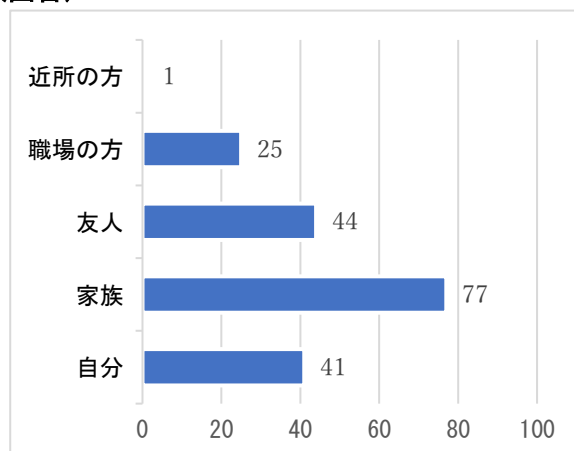
1. 旅行時にお土産を購入する比率

「購入する」（89%）、「購入する時としない時がある」（10%）、「購入しない」（1%）の順で、旅行時には、ほとんどの方がお土産を購入するという結果になった。



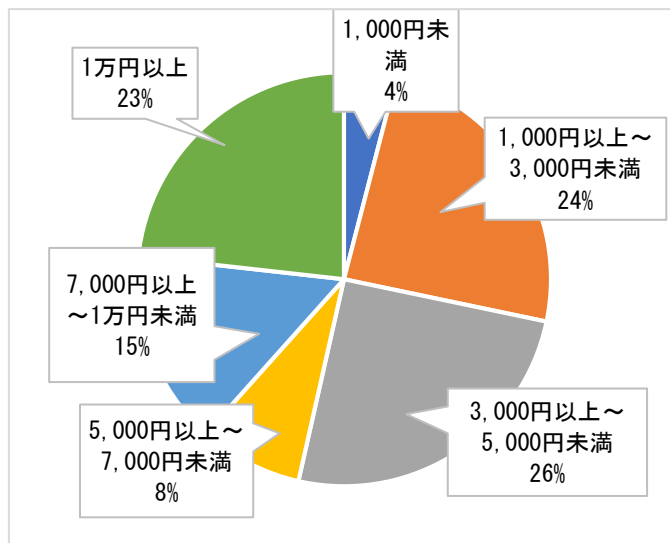
2. 誰のためにお土産を購入するか（複数回答）

「家族」（77件）、「友人」（44件）、「自分」（41件）、「職場の方」（25件）、「近所の方」（1件）の順となった。複数回答が多く、自分や家族に加えて、お世話になっている他人への贈答目的で購入されていることがうかがえる。



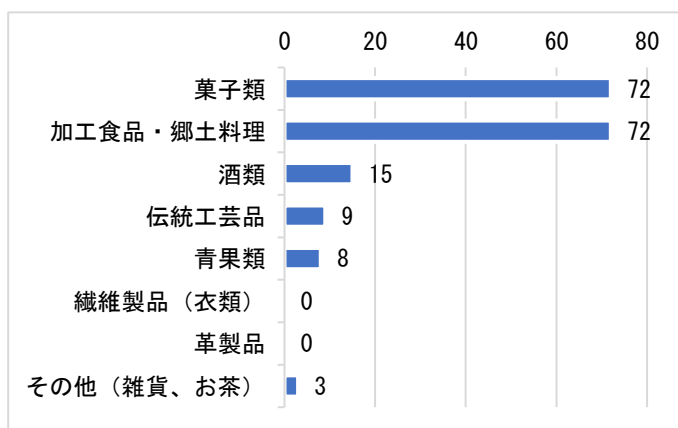
3. お土産の予算

「1,000円未満」(4%)、
 「1,000～3,000円未満」(24%)、
 「3,000～5,000円未満」(26%)、
 「5,000～7,000円未満」(8%)、
 「7,000～1万円未満」(15%)、
 「1万円以上」(23%)という結果
 になった。1,000円～5,000円がポ
 リュームゾーンと思われるが、1
 万円以上との回答者も多く、バラ
 ツキが見られる。贈答者や商品価
 値に見合う価格かどうかで判断さ
 れられると思われる。



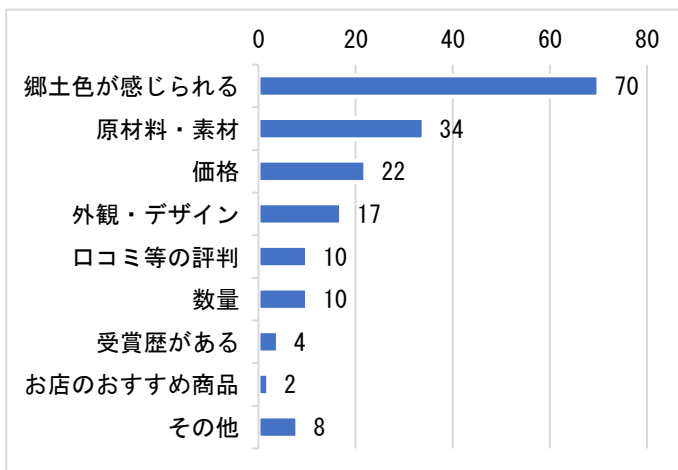
4. 購入する商品カテゴリー（複数回答）

「菓子類」(72件)、「加工食
 品・郷土料理」(72件)、「酒類」
 (15件)、「伝統工芸品」(9件)、
 「青果物」(8件)、「その他(雑
 貨・お茶)」(3件)となった。菓
 子類や加工食品・郷土料理が大半
 を占めることがわかる。



5. 購入時に重視する点（複数回答）

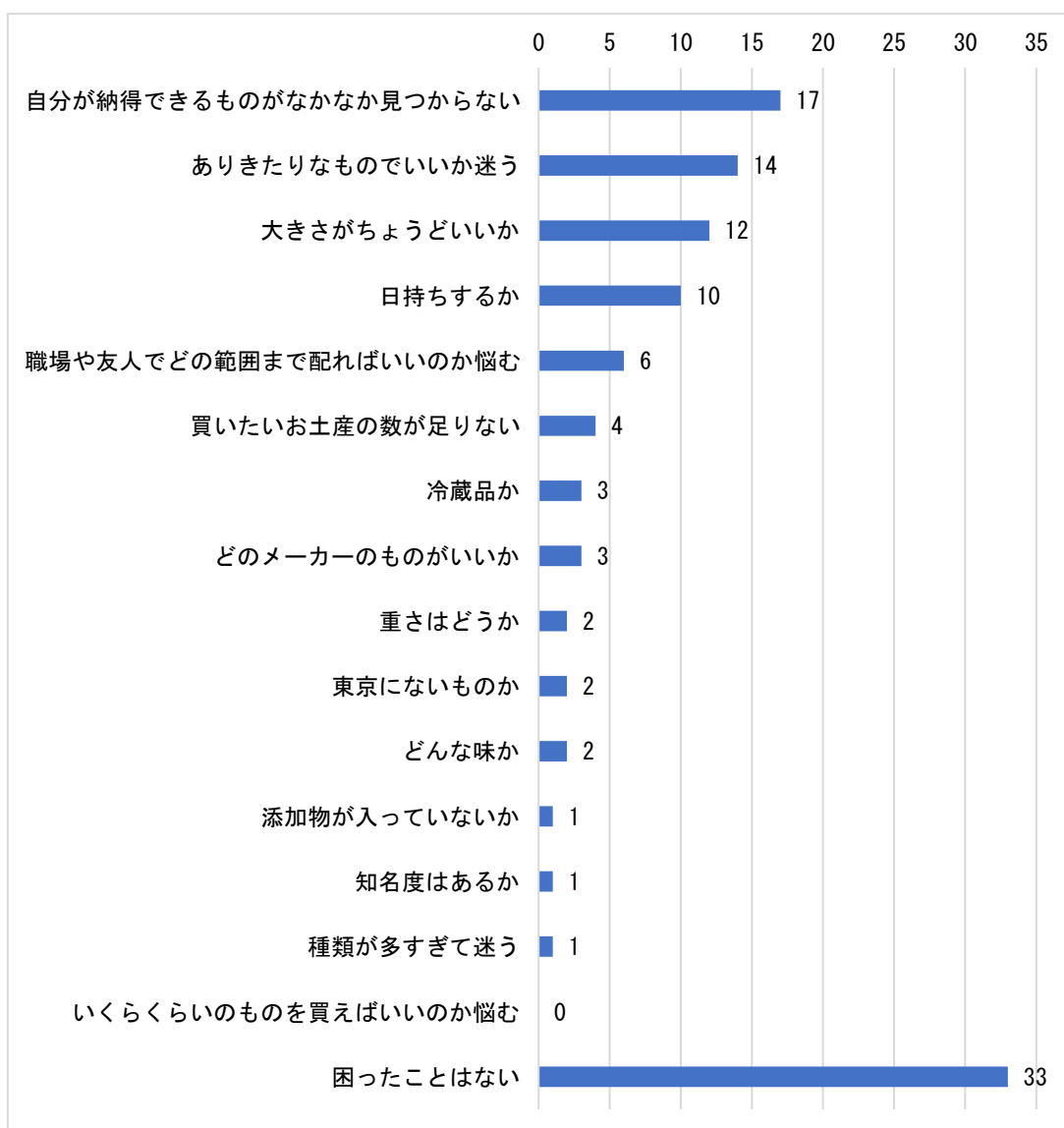
「郷土色が感じられる」(70
 件)、「原材料・素材」(34件)、
 「価格」(22件)、「外観・デザイ
 ン」(17件)、「口コミ等の評判」
 (10件)、「数量」(10件)、「受賞
 歴がある」(4件)、「お店のおすす
 め商品」(2件)の順となった。
 奈良らしさを重視していることが
 うかがえる。



6. 購入時に困ること（複数回答）

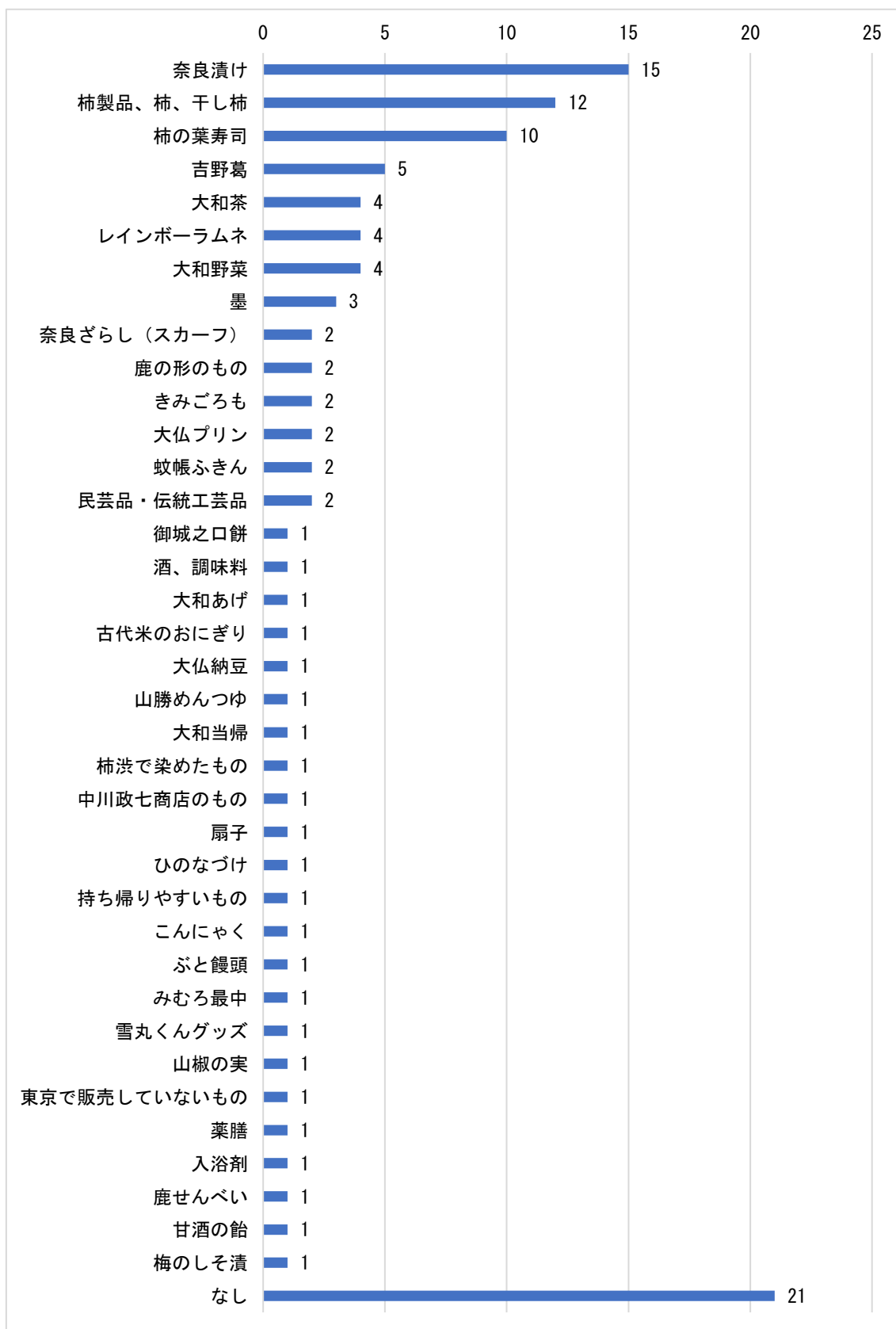
購入時に困ったことをお聞きすると、「困ったことはない」（33件）が最も多くなった。困った点の上位4項目は、「自分が納得できるものはなかなか見つからない」（17件）、「ありきたりなものでもいいか迷う」（14件）、「大きさがちょうどいいか」（12件）、「日持ちするか」（10件）の順となった。

POP等で商品のウリやお客様が知りたい点をしっかり伝えることが重要と思われる。



7. 奈良県のお土産で買いたい商品（自由記述）

「なし」（21件）が最も多いが、買いたい商品の上位4項目は、「奈良漬け」（15件）、「柿製品・柿・干し柿」（12件）、「柿の葉寿司」（10件）、「吉野葛」（5件）の順となった。奈良まほろば館の来場者には、リピーターが多いと思われるため、本調査結果は必ずしも首都圏在住者の一般的な商品認知度とは言えない点に注意する必要がある。



総括

土産品全般に関する調査結果

東京都内にある「奈良まほろば館」に来館された主として首都圏にお住まいの方へのアンケートであったが、奈良に旅行に行かれた時のことを思い浮かべて回答していただいている。東大寺前での日本人観光客へのアンケート結果と類似する結果となった。奈良らしいお菓子や加工食品・郷土料理への関心が高いが、なかなか納得できる土産品に出会えないで苦労している様子が見える。

一方で、奈良県のお土産で買いたい商品の上位には、知名度の高い「奈良漬け」、「柿製品・柿・干し柿」、「柿の葉寿司」、「吉野葛」などが占めているが、少数ながら多様な商品の名前が出てきたところを鑑みると、当館を始め、首都圏にある奈良の土産物店や飲食店等への商品ラインナップを充実させ、奈良の隠れた名品をしっかりとアピールすることが重要と思われる。